

「オンライン初期日本語教室実施事業」企画提案に関する質問及び回答

質問 1 令和 7 年度の本事業について

(1) 本事業の令和 7 年度における課題がありましたらご教示ください。

回答

特にありませんでした。

(2) 令和 7 年度の受託者及び契約金について

回答

令和 7 年度の受託者は、一般社団法人オクシモロンズです。また、令和 7 年度の契約金は、5,000,664 円です。なお、受託者が消費税の免税事業者であるため、この金額に税は含まれておりません。

(3) 令和 7 年度の教室開催曜日及び時間帯について

回答

令和 7 年度は、毎週火曜日の午前 10 時～正午まで開催しておりました。全 9 回を 1 期とし、年 2 期の開催でした。

(4) 令和 7 年度における募集要項及び委託要綱に記載以外の業務について

回答

令和 7 年度は、募集要項及び委託要綱に記載以外の業務はありませんでした。

(5) 令和 7 年度の受講者及び日本語パートナーの募集方法について

回答

令和 7 年度・令和 8 年度ともに審査項目に含まれるため、回答は差し控えさせていただきます。

(6) 令和 7 年度の指導者及び補助者数について

回答

令和 7 年度の指導者は 3 人配置されており、指導者の 3 人が持ち回りで補助者を担当しておりました。

(7) 令和7年度の日本語パートナー数について

回答

令和7年度の日本語パートナーは延べ183名の参加がありました。異なり数は39名です。

(8) 令和7年度の受講者数について

回答

令和7年度の受講者はのべ224名でした。異なり数は37名です。

(9) 令和7年度の受講者の国籍について

回答

令和7年度の受講者の国籍は、中国、ベトナム、ブラジル、フィリピン、タイ、スリランカ、インド、カナダ、ウクライナ、パキスタン、アフガニスタン、イラン、ナイジェリア、日本です。

(10) 令和7年度の受講者の在留資格について

回答

令和7年度の受講者の在留資格は、定住者、永住者、定住者の配偶者、永住者の配偶者、日本人の配偶者、家族滞在、技能実習、留学です。

(11) 令和7年度の外国人住民コーディネーターの稼働日数及び時間について

回答

令和7年度の外国人住民コーディネーターは、一人あたり18日程度、年間で36時間程度の稼働がありましたが、この日数と時間は外国人住民コーディネーターごとに異なります。

(12) 令和7年度の外国人住民コーディネーターの配置について

回答

令和7年度の外国人住民コーディネーターは毎回4名から6名が配置されておりました。

質問2 日本語パートナーについて

(1) 日本語パートナーの謝金について

日本語パートナーについては、無償でのボランティアとしての稼働となりますでしょうか。あるいは外国人住民コーディネーターと同様に謝金を支払う必要はありますでしょうか。

回答

日本語パートナーは無償での活動となります。

(2) 日本語パートナーの条件について

回答

日本語パートナーに求める資質や資格、経験等は定めておりません。

質問3 外国人コーディネーターの条件について

外国人住民コーディネーターにつきまして、「地域の定住者」を配置するよう記載がありますが、必ず愛知県内の在住者である必要がありますでしょうか。あるいは、近隣の県在住であれば認めていただけますでしょうか。

回答

外国人住民コーディネーターについては、県内等の制限は設けておりません。

質問4 教材について

(1) 教材の継続利用について

「はじめての日本語教室」を使用して、その後も生活者日本語教室を受託事業以外で続ける場合に、継続して使用できますか。

回答

本事業の選考とは関係しないため、回答は差し控えさせていただきます。

(2) 教材の配布とプレゼンテーション教材について

「はじめての日本語教室」の PDF が対面授業用かと思うので、PC などで書き込みが難しいように思います。オンラインの学習者への配布はどのように行うのか（印刷して事前に郵送なのか、データで配布なのか、画面上で閲覧なのか）は、事業者ごとにことなるのでしょうか。その場合、授業用に編集したプレゼンテーション資料を使うことが可能なのか。（著作物の取り扱いに問題がないか。）その後、編集したプレゼンテーションを使用し続けてもよいか。

回答

教材の配布の方法は事業者ごとに異なります。教材をパワーポイントに編集することはかまいませんが、教材の著作権は愛知県に属するため、内容の改変やイラストの無断使用は行わないでください。ただし、事業を実施する上で必要と認められる場合は、県と協議の上、教材の内容を一部改変することができます。また、編集したパワーポイントを使用し続けてもよいかという点につきましては、本事業の選考とは関係しないため、回答は差し控えさせていただきます。

質問 5 タブレット端末について

(1) タブレット端末の配置について

タブレット端末の配置について、自宅 wifi を使って受講できる前提のタブレット端末の配置で問題ないかご教示ください。

回答

問題ありません。

(2) タブレット端末の貸与について

タブレットを貸与する場合は、所有権は受託事業者にあり、期間終了後も事業者が使用してよいということでしょうか。

回答

お見込みの通りです。

(3) 使用するタブレット端末について

受講者自身の所持する端末にて受講させることは禁止であるという理解で相違ないでしょうか。

回答

受講者自身の所持するタブレット端末での受講は問題ありません。

質問6 提出書類について

提出書類について、片面印刷か両面印刷かご教示ください。

回答

指定しておりません。